

3

生分解性マルチ利用によるメリット

3-1. 収穫後のポリマルチのはぎ取り・廃棄物処理の省力化

マルチはがし作業・回収作業が不要です。



マルチをはがした後の土落とし作業が不要です。



回収した後のつづら折りにする包装作業が不要です。



産業廃棄物として処理するための運搬作業が不要です。



3-2. 代表的な作物での生分解性マルチを使用するメリット

【トウモロコシ】



ポリマルチは根に絡んでしまうため外す手間が大変ですが、生分解性マルチは収穫した後の残茎と一緒にロータリーなどで圃場にすき込めます。

【ハクサイ・キャベツ】

生分解性マルチは、収穫時に残した外葉を一緒にすき込めます。ポリマルチは、はがす際に外葉の処理が必要です。



3-3. 収穫作業の省力化

生分解性マルチを使用した栽培では、圃場の中の収穫場所近くまでトラックを乗り入れることができるというメリットがあります。

生分解性マルチは、はがす必要がないため、強く踏みつけても問題がなく、段ボール箱・コンテナの運び出し作業が容易になります。

